

注3 **大学番号：国047**

[平成25年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

共同設置

名古屋工業大学大学院工学研究科共同ナノメディシン科学専攻

名古屋市立大学大学院薬学研究科共同ナノメディシン科学専攻

注2

【共同設置】設置に係る設置計画履行状況報告書

名古屋工業大学：国立大学法人名古屋工業大学

名古屋市立大学：公立大学法人名古屋市立大学

平成26年5月1日現在

名古屋工業大学：作成担当者	
担当部局（課）名	企画広報課
職名・氏名	企画係長 マキノ コウジ 牧野 晃治
電話番号	052-735-5005
（夜間）	052-735-5005
F A X	052-735-5009
e-mail	kcyosa@adm.nitech.ac.jp
名古屋市立大学：作成担当者	
担当部局（課）名	薬学部事務室
職名・氏名	事務長 ワタナベ カズキ 渡邊 一紀
電話番号	052-836-3401
（夜間）	052-836-3402
F A X	052-834-9309
e-mail	watanabe-kazunori@sec.nagoya-cu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は、設置時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	6
3	施設・設備の整備状況, 経費	9
4	既設大学等の状況	11
5	教員組織の状況	15
6	留意事項に対する履行状況等	20
7	その他全般的事項	22

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者, 大学名

国立大学法人名古屋工業大学 : 名古屋工業大学大学院

公立大学法人名古屋市立大学 : 名古屋市立大学大学院

(2) 大学の位置

(名古屋工業大学)

〒466-8555 : 愛知県名古屋市昭和区御器所町

(名古屋市立大学)

〒467-8603 : 愛知県名古屋市瑞穂区田辺通3丁目1番地

(〒467-8601 : 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地)

- (注) ・ 対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・ 対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(3) 管理運営組織

大学名	職名	設置時	変更状況	備考
名古屋工業大学	学長	(タカハシ ミノル) 高橋 実 (平成22年4月)	(ウカイ ヒロユキ) 鵜飼 裕之 (平成26年4月)	H26.3.31 任期満了 H26.4.1 就任(26)
	研究科長			
	専攻長	(ヤマシタ ケイジ) 山下 啓司 (平成25年4月)		
名古屋市立大学	理事長	(トガリ ハジメ) 戸 苺 創 (平成22年4月)	(コオリ ケンジロウ) 郡 健二郎 (平成26年4月)	H26.3.31 任期満了 H26.4.1 就任(26)
	学長	(トガリ ハジメ) 戸 苺 創 (平成22年4月)	(コオリ ケンジロウ) 郡 健二郎 (平成26年4月)	H26.3.31 任期満了 H26.4.1 就任(26)
	研究科長	(ミヤタ ナオキ) 宮 田 直 樹 (平成23年4月)	(ヒラシマ ナオヒデ) 平 嶋 尚 英 (平成25年4月)	H25.3.31 任期満了 H25.4.1 就任(25)
	専攻長			

- (注) ・ 「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)

平成26年度に報告する内容 → (26)

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・ 大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の博士後期課程の専攻の場合(平成26年度までの3年間)ですが, 開設年度・
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には,
 欄を設けてください。)

(4) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
名古屋工業大学大学院工学研究科 共同ナノメディシン科学専攻 博士(ナノメディシン科学)	3 年	3 人	9 人	基礎となる学部等 工学部
名古屋市立大学大学院薬学研究科 共同ナノメディシン科学専攻 博士(ナノメディシン科学)	3	4	12	基礎となる学部等 薬学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

大学名	報告年度 区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
名古屋 工業大学	A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.33 倍	
	志願者数	() [1] 3	() [-] -	(1) [1] 5	() [-] -	() [] -	() [] -		
	受験者数	() [1] 3	() [-] -	(1) [1] 5	() [-] -	() [] -	() [] -		
	合格者数	() [1] 3	() [-] -	(1) [1] 5	() [-] -	() [] -	() [] -		
	B 入学者数	() [1] 3	() [-] -	(1) [1] 5	() [-] -	() [] -	() [] -		
	入学定員超過率 B/A	1.00		1.66					
名古屋 市立大学	A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	0.5倍	
	志願者数	(2) [-] 3	() [-] -	() [-] 1	() [] -	() [] -	() [] -		
	受験者数	(2) [-] 3	() [-] -	() [-] 1	() [] -	() [] -	() [] -		
	合格者数	(2) [-] 3	() [-] -	() [-] 1	() [] -	() [] -	() [] -		
	B 入学者数	(2) [-] 3	() [-] -	() [-] 1	() [] -	() [] -	() [] -		
	入学定員超過率 B/A	0.75		0.25					

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 「社会人」については、貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(4) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

大学名	報告年度 学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
名古屋 工業大学	1年次	[1] 3	[-] -	[1] 5	[-] -	[]	[]	
	2年次	/		[1] 3	[-] -	[]	[]	
	3年次	/		/		[]	[]	
	計	[1] 3		[2] 8		[]	[]	
名古屋 市立大学	1年次	[-] 3	[-] -	[-] 1	[-] -	[]	[]	
	2年次	/		[-] 3	[-] -	[]	[]	
	3年次	/		/		[]	[]	
	計	[-] 3		[-] 4		[]	[]	

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

大学名	区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
				退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
名古屋 工業 大学	平成25年度 入学者	3人	0人	平成25年度	0人	0人		0%
				平成26年度	0人	0人		
				平成27年度	人	人		
	平成26年度 入学者	5人	0人	平成26年度	0人	0人		0%
				平成27年度	人	人		
	平成27年度 入学者	人	人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
	合 計	8人	0人					0%
名古屋 市立 大学	平成25年度 入学者	3人	0人	平成25年度	0人	0人		0%
				平成26年度	0人	0人		
				平成27年度	人	人		
	平成26年度 入学者	1人	0人	平成26年度	0人	0人		0%
				平成27年度	人	人		
	平成27年度 入学者	人	人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
	合 計	4人	0人					0%

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<名古屋工業大学大学院工学研究科共同ナノメディシン科学専攻>

<名古屋市立大学大学院薬学研究科共同ナノメディシン科学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻 基軸 科目	機能医薬創成学概論1	1前	名古屋市立大学		1		1						オムニバス オムニバス 兼1 オムニバス 平成26年4月専任教員の退職に伴う変更 集中 平成24年11月専任教員の昇任に伴う変更 平成26年4月専任教員の退職に伴う変更
	機能医薬創成学概論2	1前	名古屋工業大学		1		1	1					
	薬物送達・動態科学概論1	1前	名古屋市立大学		1		1						
	薬物送達・動態科学概論2	1前	名古屋工業大学		1		2	1					
	医薬支援ナノ工学概論1	1前	名古屋市立大学		1		1						
	医薬支援ナノ工学概論2	1前	名古屋工業大学		1		1	1 2					
	薬工連携特別演習	1後	名古屋市立大学 名古屋工業大学		2		7	5 6 5	2	1 2			
専門 科目	次世代医薬品開発学(1・2)	2後	名古屋市立大学		2		1					平成24年11月専任教員の昇任に伴う変更	
	高精密有機合成化学	2前	名古屋工業大学		2		1						
	機能医薬創成学特別研究1	2前	名古屋市立大学 名古屋工業大学		2		2	2 1	0 1	1			
	機能医薬創成学特別研究2	2後	名古屋市立大学 名古屋工業大学		2		2	2 1	0 1	1			
	機能医薬創成学特別研究3	3前	名古屋市立大学 名古屋工業大学		2		2	2 1	0 1	1			
	機能医薬創成学特別研究4	3後	名古屋市立大学 名古屋工業大学		2		2	2 1	0 1	1			
	製剤設計・薬物送達制御学(1・2)	2後	名古屋市立大学		2		1						
	生体関連物質設計学	2前	名古屋工業大学		2		1						
	薬物送達・動態科学特別研究1	2前	名古屋市立大学 名古屋工業大学		2		3	1	1				
	薬物送達・動態科学特別研究2	2後	名古屋市立大学 名古屋工業大学		2		3	1	1				
	薬物送達・動態科学特別研究3	3前	名古屋市立大学 名古屋工業大学		2		3	1	1				
	薬物送達・動態科学特別研究4	3後	名古屋市立大学 名古屋工業大学		2		3	1	1				
	医薬支援ソフトマター物性論(1・2)	2後	名古屋市立大学		2		1						
	マイクロ・ナノバイオメカニクス	2前	名古屋工業大学		2		1						
	医薬支援ナノ工学特別研究1	2前	名古屋市立大学 名古屋工業大学		2		2	2 3 2	1	0 1			
	医薬支援ナノ工学特別研究2	2後	名古屋市立大学 名古屋工業大学		2		2	2 3 2	1	0 1			
医薬支援ナノ工学特別研究3	3前	名古屋市立大学 名古屋工業大学		2		2	2 3 2	1	0 1				
医薬支援ナノ工学特別研究4	3後	名古屋市立大学 名古屋工業大学		2		2	2 3 2	1	0 1				
部門 共通 科目	センサーデバイス開発学特論(1・2)	2後	名古屋市立大学		2							兼2 オムニバス	
	薬物動態・超分子解析学特論(1・2)	1後	名古屋市立大学		2							兼2 オムニバス	
	遺伝情報発現制御学特論(1・2)	2前	名古屋市立大学		2							兼2 オムニバス	
	先端機能薬理学特論(1・2)	1前	名古屋市立大学		2							兼2 オムニバス	
	触媒ナノテクノロジー特論	1前	名古屋工業大学		2			1					
	メディカルナノテクノロジー特論	1前	名古屋工業大学		2			1					
	ナノ薬工学材料評価学特論	2前	名古屋工業大学		2							兼1	
	先進薬科学特論	2後	名古屋工業大学		2		1						
	生命倫理特論	1前	名古屋市立大学		1							兼1 オムニバス 平成26年4月兼任教員の退職に伴う変更	
	医薬品産業特論	1前	名古屋市立大学		1							兼2 オムニバス	
	現代知的財産権特論	1後	名古屋工業大学		2							兼2 オムニバス	
	テクノロジーインターンシップ	1前・後	名古屋市立大学 名古屋工業大学		2		7	5 6 5	2	1 2		集中 平成24年11月専任教員の昇任に伴う変更 平成26年4月専任教員の退職に伴う変更	
	グローバルプレゼンテーション	1前・後	名古屋市立大学 名古屋工業大学		2		7	5 6 5	2	1 2		集中 平成24年11月専任教員の昇任に伴う変更 平成26年4月専任教員の退職に伴う変更	

- (注) ・ 設置計画書様式第2号(その2の2)又は「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、記入してください。

(2) 授業科目数

大学名	届出時の計画				変更状況				備考
	必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
名古屋工業大学	科目 14	科目 12	科目 0	科目 26	科目 14 [±0]	科目 12 [±0]	科目 0 [±0]	科目 26 [±0]	
名古屋市立大学	科目 15	科目 12	科目 0	科目 27	科目 15 [±0]	科目 12 [±0]	科目 0 [±0]	科目 27 [±0]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

	番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
名古屋工業大学	1	該当なし					
	2						
	3						
名古屋市立大学	1	該当なし					
	2						
	3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

	番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
名古屋工業大学	1	該当なし					
	2						
	3						
名古屋市立大学	1	該当なし					
	2						
	3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

名古屋工業大学: 該当なし

名古屋市立大学: 該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

(名古屋工業大学)

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(名古屋市立大学)

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

(名古屋工業大学)

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	159,406㎡	㎡	㎡	159,406㎡				
	運動場用地	44,982㎡	㎡	㎡	44,982㎡				
	小 計	204,388㎡	㎡	㎡	204,388㎡				
	そ の 他	13,208㎡	㎡	㎡	13,208㎡				
	合 計	217,596㎡	㎡	㎡	217,596㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	建物改修により管理施設が減少したため(25) 窒化物半導体マルチビジネス創生センター完成のため(26)				
	125,397㎡ 123,052㎡ 123,225㎡ (125,397㎡) (-123,052㎡) (-123,225㎡)	㎡	㎡	125,397㎡ 123,052㎡ 123,225㎡ (125,397㎡) (-123,052㎡) (-123,225㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	57 室 64 室	152 室 141 室	690 室 705 室	7 室 (補助職員 4人)	6 室 5 室 (補助職員 2人)	建物解体により部屋の 移転・組換えを行った ため(25)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			平成25年4月 専任教員1名を新規採用のため(25) 平成26年4月 専任教員1名が退職したため(26)			
	共同ナノメディシン科学専攻		45 49 45 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体	
	工学研究科 共同ナノメディ シン科学専攻	341,328 [168,617] 340,248 [168,045] 336,694 [166,918] (341,328 [168,617]) (-340,248 [-168,045])	12,527 [10,562] 9,165 [7,245] 7,169 [5,207] (12,527 [10,562]) (-9,165 [-7,245]) (-7,169 [-5,207])	8,507 [8,031] 5,019 [4,579] 3,031 [2,541] (8,507 [8,031]) (-5,019 [-4,579]) (-3,031 [-2,541])	607 569 515 (607) (569) (515)	0	0	0	大学全体 図書(冊) 471,638 469,414 466,030 〔211,399 210,848 209,426〕 学術雑誌(種) 18,228 14,866 9,131 〔15,336 12,029 6,198〕 電子ジャーナル 12,768 9,274 3,366 〔12,177 8,719 2,876〕 学生の修学環境を改善 するため(25) 学生の修学環境を改善 するため(26)
	計	341,328 [168,617] 340,248 [168,045] 336,694 [166,918] (341,328 [168,617]) (-340,248 [-168,045])	12,527 [10,562] 9,165 [7,245] 7,169 [5,207] (12,527 [10,562]) (-9,165 [-7,245]) (-7,169 [-5,207])	8,507 [8,031] 5,019 [4,579] 3,031 [2,541] (8,507 [8,031]) (-5,019 [-4,579]) (-3,031 [-2,541])	607 569 515 (607) (569) (515)	0	0	0	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		学生の修学環境を改善 するため(26)			
	5,595㎡	476 479 502		526,361					
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体			
	2,479㎡	多目的運動場、テニスコート、プール、弓道場、ボート艇庫、ヨット艇庫、馬場							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
	共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

(名古屋市立大学)

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	182,995.16 m ²	m ²	m ²	182,995.16 m ²				
	運動場用地	19,071.00 m ²	m ²	m ²	19,071.00 m ²				
	小 計	202,066.16 m ²	m ²	m ²	202,066.16 m ²				
	そ の 他	0 m ²	m ²	m ²	0 m ²				
	合 計	202,066.16 m ²	m ²	m ²	202,066.16 m ²				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
	228,953.83 m ² 203,124.81 m² 207,949.98 m ² (228,953.83 m ²) (203,124.81 m²) (207,949.98 m ²)	m ²	(m ²)	228,953.83 m ² 203,124.81 m² 207,949.98 m ² (228,953.83 m ²) (203,124.81 m²) (207,949.98 m ²)	大学整備計画の進展 (25) (26)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	部屋数の集計誤りが判明したため(26)			
	87室 79室	116室 113室	122室 55室	4室 13室 (補助職員 0人)	0 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	共同ナノメディシン科学専攻			14 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料	機械・器具	標 本	研究科全体	
		冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点		
	薬学研究科 共同ナノメディ シン科学専攻 (博士後期課程)	65,593 [35,898] 64,971 [31,734] 64,598 [35,653] (65,593 [35,898]) (64,971 [31,734]) (64,598 [35,653])	1,287 [644] 1,291 [646] 1,317 [646] (1,287 [644]) (1,291 [646]) (1,317 [646])	8,320 [7,035] 7,219 [6,095] 6,433 [5,258] (8,320 [7,035]) (7,219 [6,095]) (6,433 [5,258])	88 (88)	642 (642)	0 (0)	電子ジャーナルについては田辺キャンパスで利用可能タイトル数	
		計	65,593 [35,898] 64,971 [31,734] 64,598 [35,653] (65,593 [35,898]) (64,971 [31,734]) (64,598 [35,653])	1,287 [644] 1,291 [646] 1,317 [646] (1,287 [644]) (1,291 [646]) (1,317 [646])	8,320 [7,035] 7,219 [6,095] 6,433 [5,258] (8,320 [7,035]) (7,219 [6,095]) (6,433 [5,258])	88 (88)	642 (642)	0 (0)	整備計画の進展 (25) (26)
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 整備計画の進展(25)		
	8,113.36 m ² 8,122.36 m²		530 席 518 席		774,900冊 773,333冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体 大学整備計画の進展 (25)	
	2,148.0 m ² 3,267.9 m²		野球グラウンド、テニスコート						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書・設備および経費 (共同研究費除く)は 薬学のもの。その他は 全学共通
		教員1人当り研究費等	544千円	544千円	図書購入費	9,616千円	9,727千円 9,631千円	9,749千円 9,742千円	
	共同研究費等	30,000千円	30,000千円	設備購入費	4,705千円	4,705千円	4,705千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	学生1人当り納付金の 第1年次上段は名古屋 市民、下段はその他	
767.8千円 867.8千円		535.8千円	535.8千円	— 千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		運営費交付金(名古屋市費)							

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 構成大学毎に記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋工業大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
【工学部】	年	人	年次	人		倍			
(第一部)			人			1.05			
生命・物質工学科	4	155		620	学士(工学) 学士(学術)	1.08	平成16	愛知県名古屋市 昭和区御器所町	
環境材料工学科	4	95		380	学士(工学) 学士(学術)	1.04	平成16		
機械工学科	4	185		740	学士(工学) 学士(学術)	1.04	平成16		
電気電子工学科	4	140		560	学士(工学) 学士(学術)	1.06	平成16		
情報工学科	4	165		660	学士(工学) 学士(学術)	1.02	平成16		
建築・デザイン工学科	4	80		320	学士(工学) 学士(学術)	1.06	平成16		
都市社会工学科	4	90		360	学士(工学) 学士(学術)	1.06	平成16		
(共通)			3年次 10	20					
(第二部)						1.12			
物質工学科	5	5	-	25	学士(工学) 学士(学術)	1.12	平成16		
機械工学科	5	5	-	25	学士(工学) 学士(学術)	1.12	平成16		
電気情報工学科	5	5	-	25	学士(工学) 学士(学術)	1.12	平成16		
社会開発工学科	5	5	-	25	学士(工学) 学士(学術)	1.12	平成16		
【工学研究科】									
(博士前期課程)						1.10			
物質工学専攻	2	100	-	200	修士(工学) 修士(学術)	1.13	平成15	愛知県名古屋市 昭和区御器所町	
機能工学専攻	2	100	-	200	修士(工学) 修士(学術)	1.14	平成15		
情報工学専攻	2	120	-	240	修士(工学) 修士(学術)	1.16	平成15		
社会工学専攻	2	75	-	150	修士(工学) 修士(学術)	1.06	平成15		
産業戦略工学専攻	2	33	-	50	修士(工学) 修士(学術) 修士(産業戦略)	1.09	平成15		
未来材料創成工学専攻	2	78	-	156	修士(工学) 修士(学術)	1.01	平成20		
創成シミュレーション工学専攻	2	80	-	160	修士(工学) 修士(学術)	1.06	平成20		

(博士後期課程)						1.26			
物質工学専攻	3	5	-	15	博士(工学) 博士(学術)	0.60	平成15	愛知県名古屋市 昭和区御器所町	
機能工学専攻	3	5	-	15	博士(工学) 博士(学術)	1.20	平成15		
情報工学専攻	3	5	-	15	博士(工学) 博士(学術)	2.20	平成15		
社会工学専攻	3	4	-	12	博士(工学) 博士(学術)	2.50	平成15		
未来材料創成工学専攻	3	12	-	36	博士(工学) 博士(学術)	1.02	平成20		
創成シミュレーション工学専攻	3	8	-	24	博士(工学) 博士(学術)	1.00	平成20		
共同ナノメーション科学専攻	3	3	-	9	博士(ナノメーション科学)	1.33	平成25		
大学の名称	名古屋市立大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 員	編入学 定員	収 容 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
薬学部	年	人	年次 人	人		倍			
薬学科	6	60	-	360	学士(薬学)	1.25 1.22	平成18	愛知県名古屋市 瑞穂区田辺通3 丁目1番地	
生命薬科学科	4	40	-	160	学士(薬科学)	1.35	平成18		
医学部						1.00		愛知県名古屋市 瑞穂区瑞穂町字 川澄1番地	
医学科	6	95	-	567	学士(医学)	1.00	昭和25		
経済学部						1.02			
公共政策学科	4	90	-	360	学士(経済学)	1.02	平成19	愛知県名古屋市 瑞穂区瑞穂町字 山の畑1番地	
マネジメントシステム学科	4	80	-	320	学士(経営学)	1.02	平成19		
会計ファイナンス学科	4	60	-	240	学士(経営学)	1.02	平成19		
人文社会学部			3年次			1.06			
心理教育学科	4	59	10	238	学士(人文社会学)	1.07 (0.55)	平成8	愛知県名古屋市 瑞穂区瑞穂町字 山の畑1番地	平成25年4月 人間科学科を心理教育 学科に名称 変更 ()内は3年次 編入学定員 超過率
現代社会学科	4	67	10	254	学士(人文社会学)	1.04 (0.80)	平成8		
国際文化学科	4	68	-	246	学士(人文社会学)	1.06	平成8		
芸術工学部						1.03			
情報環境デザイン学科	4	30	-	90	学士(芸術工学)	1.04	平成24	愛知県名古屋市 千種区北千種2 丁目1番10号	
産業イノベーションデザイン学科	4	30	-	90	学士(芸術工学)	1.03	平成24		
建築都市デザイン学科	4	40	-	160	学士(芸術工学)	1.03	平成17		
看護学部						1.01			
看護学科	4	82	-	324	学士(看護学)	1.01	平成11	愛知県名古屋市 瑞穂区瑞穂町字 川澄1番地	

薬学研究科			人			1.10		
創薬生命科学専攻 (前期課程)	2	36	—	72	修士(薬科学)	1.03	平成22	愛知県名古屋市 瑞穂区田辺通3 丁目1番地
創薬生命科学専攻 (後期課程)	3	8	—	16	博士(薬科学)	0.91	平成24	
共同ナノメディシン 科学専攻(後期課程)	3	4	—	4	博士(ナノメディシン科学)	0.50	平成25	
医療機能薬学専攻 (博士課程)	4	6	—	12	博士(薬学)	1.55	平成24	
医学研究科						0.76		
医科学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士(医科学)	0.65	平成20	愛知県名古屋市 瑞穂区瑞穂町字 川澄1番地
生体機能・構造医学専攻 (博士課程)	4	15	—	60	博士(医学)	0.76	平成12	
生体情報・機能制御医学 専攻(博士課程)	4	15	—	60	博士(医学)	0.71	平成12	
生体防御・総合医学専攻 (博士課程)	4	18	—	72	博士(医学)	0.82	平成12	
予防・社会医学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.75	平成12	
経済学研究科						0.60		
経済学専攻 (前期課程)	2	20	—	40	修士(経済学)	0.72	平成20	愛知県名古屋市 瑞穂区瑞穂町字 山の畑1番地
経済学専攻 (後期課程)	3	5	—	15	博士(経済学)	0.60	平成20	
経営学専攻 (前期課程)	2	20	—	40	修士(経済学)	0.62	平成20	
経営学専攻 (後期課程)	3	5	—	15	博士(経済学)	0.73	平成20	
人間文化研究科						0.96		
人間文化専攻 (前期課程)	2	25	—	50	修士(人間文化)	1.06	平成12	愛知県名古屋市 瑞穂区瑞穂町字 山の畑1番地
人間文化専攻 (後期課程)	3	5	—	15	博士(人間文化)	0.93	平成14	
芸術工学研究科						0.87		
芸術工学専攻 (前期課程)	2	30	—	60	修士(芸術工学)	0.86	平成12	愛知県名古屋市 千種区北千種2 丁目1番10号
芸術工学専攻 (後期課程)	3	5	—	15	博士(芸術工学)	0.66	平成14	

システム自然科学研究科						0.95		
生体情報専攻 (前期課程)	2	15	—	30	修士(生体情報)	0.83	平成12	愛知県名古屋市 瑞穂区瑞穂町字 山の畑1番地
生体情報専攻 (後期課程)	3	5	—	15	博士(生体情報)	1.13	平成14	
看護学研究科						0.80		
看護学専攻(前期課程)	2	24	—	48	修士(看護学)	1.01	平成15	愛知県名古屋市 瑞穂区瑞穂町字 川澄1番地
看護学専攻 (後期課程)	3	5	—	15	博士(看護学)	0.46	平成17	

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 「平均定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
- ・ 構成大学毎に記入してください。

5 教員組織の状況

<名古屋工業大学工学研究科共同ナノメディシン科学専攻>

<名古屋市立大学薬学研究科共同ナノメディシン科学専攻>

(1) 担当教員表

(名古屋工業大学)

設置時の計画				変更状況				備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月
専	教授	柴田 哲男 (47)	平成25年4月	機能医薬創成学概論2※ 高精密有機合成化学 先進薬科学特論 薬工連携特別演習 テクノロジーイン ターンシップ グローバルプレゼン テーション 機能医薬創成学特別 研究1 機能医薬創成学特別 研究2			(48)		
専	教授	田中 俊樹 (62)	平成25年4月	薬物送達・動態科学 概論2※ 生体関連物質設計学 薬工連携特別演習 テクノロジーイン ターンシップ グローバルプレゼン テーション 薬物送達・動態科学 特別研究1 薬物送達・動態科学 特別研究2			(63)		
専	教授	山下 啓司 (54)	平成25年4月	薬物送達・動態科学 概論2※ 薬工連携特別演習 テクノロジーイン ターンシップ グローバルプレゼン テーション 薬物送達・動態科学 特別研究1 薬物送達・動態科学 特別研究2 薬物送達・動態科学 特別研究2			(55)		
専	教授	松本 健郎 (52)	平成25年4月	医薬支援ナノ工学概 論2※ マイクロ・ナノバイ オメカニクス 薬工連携特別演習 テクノロジーイン ターンシップ グローバルプレゼン テーション 医薬支援ナノ工学特 別研究1 医薬支援ナノ工学特 別研究2			(53)		
専	准教授	小澤 智宏 (47)	平成25年4月	機能医薬創成学概論 2※ 触媒ナノテクノロ ジー特論 薬工連携特別演習 テクノロジーイン ターンシップ グローバルプレゼン テーション 機能医薬創成学特別 研究1 機能医薬創成学特別 研究2			(48)		
専	准教授	出羽 毅久 (48)	平成25年4月	機能医薬創成学概論 2※ メディカルナノテク ロジー特論 薬工連携特別演習 テクノロジーイン ターンシップ グローバルプレゼン テーション 薬物送達・動態科学 特別研究1 薬物送達・動態科学 特別研究2			(49)		
専	准教授	長山 和亮 (39)	平成25年4月	医薬支援ナノ工学概 論2※ 薬工連携特別演習 テクノロジーイン ターンシップ グローバルプレゼン テーション 医薬支援ナノ工学特 別研究1 医薬支援ナノ工学特 別研究2			後任未定		退職年月日：平成26年3月 氏名：長山和亮 理由：他大学転出 平成26年10月採用予定 (AC教員審査(平成26年 度第1回)受審予定)
専	准教授	出口 真次 (37)	平成25年4月	医薬支援ナノ工学概 論2※ 薬工連携特別演習 テクノロジーイン ターンシップ グローバルプレゼン テーション 医薬支援ナノ工学特 別研究1 医薬支援ナノ工学特 別研究2			(38)		

兼任	教授	種村 眞幸 (54)	平成25年4月	ナノ薬工学材料評価学特論			(55)			
兼任	教授	濱田 恵美子 (54) (加藤 恵美子)	平成25年4月	現代知的財産権特論※			(55)			
兼任	非常勤講師	虎澤 研示 (65)	平成25年4月	現代知的財産権特論※			福田 雄一 (65)	平成26年4月		非常勤講師の交代
					兼任	非常勤講師	長山 和亮 (40)	平成26年4月	医薬支援ナノ工学概論2※	専任教員の退職に伴う

(名古屋市立大学)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	林 秀敏 (54)	平成25年4月	機能医薬創成学特別研究1 機能医薬創成学特別研究2 機能医薬創成学特別研究3 機能医薬創成学特別研究4 次世代医薬品開発学(1-2) 機能医薬創成学概論1			(55)			
専	教授	尾関 哲也 (46)	平成25年4月	薬物送達・動態科学特別研究1 薬物送達・動態科学特別研究2 薬物送達・動態科学特別研究3 薬物送達・動態科学特別研究4 製剤設計・薬物送達制御学(1-2) 薬物送達・動態科学概論1			(47)			
専	教授	山中 淳平 (52)	平成25年4月	医薬支援ナノ工学特別研究1 医薬支援ナノ工学特別研究2 医薬支援ナノ工学特別研究3 医薬支援ナノ工学特別研究4 医薬支援ソフトウェア物性論(1-2) 医薬支援ナノ工学概論1			(53)			
専	准教授	奥蘭 透 (47)	平成25年4月	医薬支援ナノ工学特別研究1 医薬支援ナノ工学特別研究2 医薬支援ナノ工学特別研究3 医薬支援ナノ工学特別研究4 薬工連携特別演習テクノロジーイン			(47)			
専	講師	井上 靖道 (36)	平成25年4月	機能医薬創成学特別研究1 機能医薬創成学特別研究2 機能医薬創成学特別研究3 機能医薬創成学特別研究4 薬工連携特別演習テクノロジーイン		准教授	(37)			平成24年11月 昇任
専	講師	田上 辰秋 (35)	平成25年4月	薬物送達・動態科学特別研究1 薬物送達・動態科学特別研究2 薬物送達・動態科学特別研究3 薬物送達・動態科学特別研究4 薬工連携特別演習テクノロジーイン			(35)			
専	助教	伊藤 友香 (33)	平成25年4月	機能医薬創成学特別研究1 機能医薬創成学特別研究2 機能医薬創成学特別研究3 機能医薬創成学特別研究4 薬工連携特別演習テクノロジーイン			(34)			

専	助教	豊玉 彰子 (40)	平成25年4月	医薬支援ナノ工学特 別研究1 医薬支援ナノ工学特 別研究2 医薬支援ナノ工学特 別研究3 医薬支援ナノ工学特 別研究4 薬工連携特別演習 テクノロジーイン		講師	(41)				平成24年11月 昇任
兼担	准教授	中川 秀彦 (46)	平成25年4月	センサーデバイス開 発学特論(1・2)※		教授	(46)				平成25年4月 昇任
兼担	准教授	梅澤 直樹 (41)	平成25年4月	センサーデバイス開 発学特論(1・2)※			(42)				
兼担	教授	湯浅 博昭 (52)	平成25年4月	薬物動態・超分子解 析学特論(1・2)※			(53)				
兼担	教授	平嶋 尚英 (52)	平成25年4月	薬物動態・超分子解 析学特論(1・2)※			(53)				
兼担	教授	星野 真一 (51)	平成25年4月	遺伝情報発現制御学 特論(1・2)※			(52)				
兼担	准教授	長田 茂宏 (46)	平成25年4月	遺伝情報発現制御学 特論(1・2)※			(47)				
兼担	教授	今泉 祐治 (60)	平成25年4月	先端機能薬理学特論 (1・2)※			(61)				
兼担	准教授	大澤 匡弘 (41)	平成25年4月	先端機能薬理学特論 (1・2)※			(42)				
兼担	教授	藤井 聡 (56)	平成25年4月	生命倫理特論※			後任未定				退職年月日：平成26年3月
兼担	教授	松永 民秀 (55)	平成25年4月	生命倫理特論※			(56)				
兼担	教授	樋口 恒彦 (56)	平成25年4月	医薬品産業特論※			(57)				
兼担	教授	中村 精一 (46)	平成25年4月	医薬品産業特論※			(46)				

(注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る研究科に所属しない教員であって、全学共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、
〈〇〇研究科 〇〇専攻〉を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(2) 専任教員数

	設置時の計画					変更状況					年齢構成	
	教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
〇〇大学	()	()	()	()	()	[]	[]	[]	[]	[]	歳	名
△△大学	()	()	()	()	()	[]	[]	[]	[]	[]	歳	名

	設置時の計画			変更状況			年齢構成	
	研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
名古屋工業大学	8人 (8人)	0人 (0人)	8人 (8人)	7人 [±Δ1]	0人 [±0]	7人 [±Δ1]	63 歳	1 名
名古屋市立大学	5人 (5人)	3人 (3人)	8人 (8人)	5人 [±0]	3人 [±0]	8人 [±0]	65 歳	0 名

- (注) ・ 様式は、学部・学科の場合は上段、研究科の場合は下段を使用してください。
- ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

	番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
名古屋工業大学	1	該当なし 准教授	長山 和亮	平成26年4月1日付で茨城大学工学部教授に就任のため（報告年度：平成26年度）
	2			
	3			
名古屋市立大学	1	該当なし		
	2			
	3			

- (注) ・ 専任教員辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

名古屋工業大学：	該当なし 後任採用までの間、専任教員の担当授業「医薬支援ナノ工学概論2」は退職した当該教員に非常勤講師として担当してもらい、その他の担当授業及び研究指導は本学の同一部門の2名の教員で対応。 学生には共同ナノメディシン科学専攻の専攻ガイダンスで周知するとともに、指導教員からも個別に周知している。
名古屋市立大学：	該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (25年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (26年3月)	薬学部生命薬科学科の入学定員超過の是正に努めること (名古屋市立大学)	入学試験の合格ラインの引き上げを検討 (名古屋市立大学)	入学試験の合格ラインを引き上げ、平成26年度の入試における入学定員に対する入学者数の比率が1.2を超えないようにした。 (平成26年度 生命薬科学科 入学定員40名、入学者数46名、入学比率1.15倍) (名古屋市立大学)
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

平成26年度 入学試験結果（名古屋市立大学 薬学部 生命薬科学科）

試験区分	入学定員	志願者	志願倍率	受験者	合格者	合格辞退者	追加合格者	入学者	入学比率
中期日程	32	658	20.6	471	61	27	2	36	
推薦A	4	15	3.8	15	6	0	0	6	
推薦B	4	15	3.8	15	4	0	0	4	
私費外国人	若干名	1		1	0				
計	40	689	17.2	502	71	27	2	46	1.15

7 その他全般的事項

<名古屋工業大学工学研究科共同ナノメディシン科学専攻>

<名古屋市立大学薬学研究科共同ナノメディシン科学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

(名古屋工業大学)

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	現時点では変更事項はない。設置計画書の内容に従って教育が進行する見通しである。

(名古屋市立大学)

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	現時点では変更事項はない。設置届出書の内容に従って教育が進行する見通しである。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 - ・ 構成大学毎に記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

(名古屋工業大学)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全学的な教育全般に関する組織の工学教育総合センターに創造教育開発オフィスを設置 <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 創造教育開発オフィスの下に、FD推進部会、授業評価・シラバス部会、カリキュラム検討部会、e-Education推進部会、生涯学習部会を設け、それぞれ年4回程度開催 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工学教育カリキュラム(共通教育を含む)の開発 ・ 社会人教育及び留学生教育のためのカリキュラムの開発 ・ 生涯学習、高大連携及び公開講座の企画及び立案 ・ ファカルティ・ディベロップメントの推進 ・ 授業評価及びシラバスに関する調査及び研究 ・ 教員・学生の双方向型教育支援システムを実現するe-Educationの推進 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学外から講師を招へいしFD講演会を開催 ・ 授業評価アンケート、教員による授業の自己点検・評価の実施

- b 実施方法
 - ・ 学外から講師を招き，FD講演会を開催し，講演またはワークショップ形式で実施
 - ・ 学生による授業評価及び教員による自己点検・評価をWeb入力により実施し，分析結果等をWebで公表
- c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ 年2回FD講演会を開催
 - ・ 半期に1回授業評価アンケートを実施
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・ 実施結果を通して得た知見，分析結果等を授業改善に活用
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期
 - ・ 半期に1回実施
 - b 教員や学生への公開状況，方法等
 - ・ 学内Webで分析結果を公開し，教員も学生も自由に閲覧可能

（名古屋市立大学）

- ① 実施体制
 - a 委員会の設置状況

教員の資質の維持向上のための全学的な組織である名古屋市立大学教育支援センターの運営委員会に薬学研究科から選出された委員が出席し、全学の活動と連携しながら薬学研究科のFD活動を行っている。
 - b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成26年5月14日（水） 第1回名古屋市立大学教育支援センター運営委員会、薬学研究科委員1名出席
（平成25年度は5/8（水）、7/11（木）、10/4（金）、12/20（金）、2/28（金）の5回開催）
 - c 委員会の審議事項等
 - ・ FDガイドライン作成（人材育成目的に照らした教育成果、カリキュラムの改革必要性等に関する検証）
 - ・ FD講演会の開催について
 - ・ 研究授業の実施について
 - ・ 授業アンケートの実施方法及び結果報告 等
- ② 実施状況
 - a 実施内容
 - ・ 新任教員研修会（全学）
 - ・ 新任教員説明会（薬学研究科）
 - ・ 研究不正防止のための研修会
 - ・ 海外大学の講義見学報告
 - b 実施方法
 - ・ 名古屋市立大学 新任教員のための研修会
名古屋市大全部の新任教員を対象とした研修会
 - ・ 薬学研究科 新任教員のための説明会
 - ・ 研究不正防止のための研修会（全講座で随時開催）
薬学研究科教員全員に対して、研究不正防止のための研修を、e-ラーニングシステムおよび研修資料を用いて行った。
 - ・ 海外大学の講義見学報告
交流協定を締結している南カリフォルニア大学薬学部に教授を派遣し、講義を見学し、その報告を教授会で行うとともに、報告会を実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 名古屋市立大学 新任教員のための研修会（平成26年4月30日）
薬学研究科新任教員 2名参加
（平成25年度は4/11(木)薬学研究科新任教員 4名参加、10/18(金)薬学研究科新任教員 1名参加）
- ・ 薬学研究科 新任教員のための説明会（平成26年4月15日）
薬学研究科赴任の新任教員 7名参加。教育・教務に関する説明および質疑応答を行った。
- ・ 研究不正防止のための研修会
全教員の参加を義務付け、報告させている。
- ・ 海外大学の講義見学報告（平成25年9月24日）
教授会（教授および准教授）において報告し、報告会を行った。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

現状把握と分析を行いつつ、大学院教務委員会を中心に、カリキュラムや授業の時間割等について引き続き検討を行う。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

ほとんどの講義において、講義後最終回に授業に対する感想や意見を書かせている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

公開は行っていない。

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付してください。
・ 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載してください。（記入例参照）
・ 構成大学毎に記入してください。

(3) 自己点検・評価等に関する事項
(名古屋工業大学)

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

自己点検・評価については、名古屋工業大学の「全学評価室」及び名古屋市立大学の「自己評価・第三者評価等検討委員会」が連携し、共同ナノメディシン科学専攻協議会の下で定期的に行うこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・ 平成26年6月末に公表予定

b 公表方法

- ・ 大学ホームページ上に公開予定（平成26年6月末予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 平成27年度に評価機関（大学評価・学位授与機構）の評価を受けるべく学内で検討中。

(名古屋市立大学)

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

現状把握と分析を行いつつ、大学院教務委員会を中心に、評価する予定である。

② 自己点検・評価報告書

平成24年度の教育研究活動に関する自己評価報告書を取りまとめ、平成26年5月に研究科ホームページで公表を予定している。平成25年度についても同様に26年度に自己評価報告書を取りまとめ、研究科ホームページで公表の予定である。

a 公表（予定）時期

- ・平成23年3月26日 公表（平成22年度分）
- ・平成24年11月 公表（平成23年度分）
- ・平成26年5月 公表予定（平成24年度分）
- ・平成26年10月～12月 公表予定（平成25年度分）

b 公表方法

・薬学研究科ホームページの「点検・評価」のページ (<http://www.nagoya-cu.ac.jp/phar/1015.htm>) に、「名古屋市立大学大学院薬学研究科 自己点検・評価報告書」として公表。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成28年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受ける予定である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- ・ 構成大学毎に記入してください。

（4）情報公表に関する事項
（名古屋工業大学）

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (平成 26 年 6 月 30 日)

（名古屋市立大学）

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (平成 26 年 6 月 30 日)